

令和7年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	CUPS	国語	現代の国語	2

教科書

高等学校 現代の国語（第一学習社）

学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

添削課題	回数	日次	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等
	第1回	5/30	水の東西 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。二項対立の理解。日本文化についての理解。	教科書42～48ページ
	第2回	5/30	話し方の工夫・待遇表現 話し言葉と書き言葉の特徴、及び相手により伝わりやすい表現方法を理解する。敬語表現を意識した言葉遣いを理解し、相手や場に応じた表現が選択ができるようにす	教科書210～219ページ
	第3回	5/30	羅生門 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。小説の読み方、及びテーマの理解。	教科書28～40ページ
	第4回	8/22	無彩色の色 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげている事例を把握する。日本の美意識とその背景についての理解。	教科書82～88ページ
	第5回	8/22	城の崎にて 三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。情景描写と生き物の描写の理解。	教科書169～180ページ
	第6回	8/22	書き方の基礎レッスン 書き方の基礎に対する自分自身の課題に気づき、活動を通してルールや用法を定着させる。表記・表現の基本ルールの理解。比喩などの表現技法の理解。	教科書242～247ページ

面接指導日	第1回	別途コース別時間割による 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について
	第2回	別途コース別時間割による 添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について

単位認定試験	評価方法
期末（9月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）	試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価

令和7年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	FSG	国語	現代の国語	2

教科書

高等学校 現代の国語（第一学習社）

学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

添削課題	回数	日次	学習のねらい、内容など						備考 教科書ページ等
	第1回	5/30	水の東西 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。二項対立の理解。日本文化についての理解。						教科書42～48ページ
	第2回	5/30	話し方の工夫・待遇表現 話し言葉と書き言葉の特徴、及び相手により伝わりやすい表現方法を理解する。敬語表現を意識した言葉遣いを理解し、相手や場に応じた表現が選択ができるようにす						教科書210～219ページ
	第3回	5/30	羅生門 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。小説の読み方、及びテーマの理解。						教科書28～40ページ
	第4回	8/22	無彩の色 ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげている事例を把握する。日本の美意識とその背景についての理解。						教科書82～88ページ
	第5回	8/22	城の崎にて 三つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。情景描写と生き物の描写の理解。						教科書169～180ページ
	第6回	8/22	書き方の基礎レッスン 書き方の基礎に対する自分自身の課題に気づき、活動を通してルールや用法を定着させる。表記・表現の基本ルールの理解。比喩などの表現技法の理解。						教科書242～247ページ
面接指導日	クラス	11組	12組						
	第1回	別途コース別時間割による						学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について	
	第2回	別途コース別時間割による						添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について	

単位認定試験	評価方法
期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）	試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価

令和7年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	CUPS	国語	文学国語	2

教科書

文学国語（大修館書店）

学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることを目指す。①深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

添削課題	回数	日次	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等
	第1回	5/30	桜の中で、時が重なり合う 言葉による世界の多様なとらえ方を理解するとともに、桜と密接に結びついた「日本人の美意識」に対する理解を深める。	教科書240～245
	第2回	5/30	山月記① 漢文調の文体に触れ、中国を舞台とした格調高い語りの世界の特徴を理解するとともに、小説における語りの役割や文体の表現効果について理解を深める。	教科書54～66
	第3回	5/30	山月記② 登場人物の心情や境遇を深く理解するとともに、小説世界をより身近に追体験することで生徒自身の生き方や考え方を振り返る契機とする。	教科書54～66
	第4回	8/22	藤 自然の美しさへの感動が人生に潤いをもたらすことを理解するとともに、草木とともにある家族への筆者の思いを読み取る。	教科書292～299
	第5回	8/22	鍋セット① 登場人物の心情や場面との関係、情景描写を的確に捉えることで、文学的文章の表現効果を理解する。	教科書252～267
	第6回	8/22	鍋セット② 現代小説における日常的なディテールや固有物が登場人物の心情や時間変遷における人物関係を支えていくという文学的文章の魅力を味わう。	教科書252～267
面接指導日	第1回	別途コース別時間割による 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について		
	第2回	別途コース別時間割による 添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について		

単位認定試験	評価方法
期末（9月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）	試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価

令和7年度 通信教育実施計画										
学年	学期	コース	教科				科目		単位数	
3	前期	FSG	国語				文学国語		2	
教科書										
文学国語（大修館書店）										
学習目標										
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることを目指す。①深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。										
添削課題	回数	※切	学習のねらい、内容など						備考 教科書ページ等	
	第1回	5/30	桜の中で、時が重なり合う 言葉による世界の多様なとらえ方を理解するとともに、桜と密接に結びついた「日本人の美意識」に対する理解を深める。						教科書240～245	
	第2回	5/30	山月記① 漢文調の文体に触れ、中国を舞台とした格調高い語りの世界の特徴を理解するとともに、小説における語りの役割や文体の表現効果について理解を深める。						教科書54～66	
	第3回	5/30	山月記② 登場人物の心情や境遇を深く理解するとともに、小説世界をより身近に追体験することで生徒自身の生き方や考え方を振り返る契機とする。						教科書54～66	
	第4回	8/22	藤 自然の美しさへの感動が人生に潤いをもたらすことを理解するとともに、草木とともにある家族への筆者の思いを読み取る。						教科書292～299	
	第5回	8/22	鍋セット① 登場人物の心情や場面との関係、情景描写を的確に捉えることで、文学的文章の表現効果を理解する。						教科書252～267	
	第6回	8/22	鍋セット② 現代小説における日常的なディテールや固有物が登場人物の心情や時間変遷における人物関係を支えていくという文学的文章の魅力を味わう。						教科書252～267	
面接指導日	クラス	11組	12組							
	第1回	別途コース別時間割による 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について								
	第2回	別途コース別時間割による 添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について								
単位認定試験			評価方法							
期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）			試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価							

試験あり

(試験範囲、時間割は2週間前に発表)

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	CUPS	地理歴史	歴史総合	2
教科書					
詳解 歴史総合（東京書籍）					
学習目標					
近現代を中心に、史資料を活用し、日本と世界の歴史を相互に関連付け学び、多角的に歴史を考察する。また、課題を追及、解決する活動を通して、現代の問題と歴史との関連を学ぶ。広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	2025/5/30	内容：18世紀の東アジア、イギリスの産業革命、東アジアの国際秩序の変化と日本の開国、アメリカの独立とフランス革命 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。		P34～P58
	第2回	2025/5/30	歴史上の人物について（生い立ち、戦績、エピソードなど）まとめることで、時代の流れや背景を理解し、歴史的思考力を養う。		教科書全ページ
	第3回	2025/5/30	内容：明治維新と東アジアの国際関係、日清、日露戦争、第一次世界大戦 幕末から第一次世界大戦の動乱の中で、日本の国際社会での動向を学ぶことで、現代の政治・経済・文化の基盤を把握する。		P60～107
	第4回	2025/8/22	沖縄戦と戦後沖縄の歴史学習により、現代の安全保障や平和構築について考える。また、現代の沖縄が抱える問題を学ぶことで、社会的課題を解決する能力を育む。		資料1. 2. 3
	第5回	2025/8/22	内容：ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界恐慌 国際協調路線から戦争へと向かう歴史を学ぶことで、国際関係や平和を維持するための外交の重要性を考察する。		P108～127
	第6回	2025/8/22	内容：日中戦争と深刻化する世界の危機、第二次世界大戦、アジア太平洋戦争と日本の敗戦 戦争の悲惨な実態を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。		P130～141
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第1章 2節 結びつく世界と日本の開国 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。			別途コース別時間割による
	第2回	第2章 3節 経済危機と第二次世界大戦 国際協調路線から戦争へと向かう歴史を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（9月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組む態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	FSG	地理歴史	歴史総合	2
教科書					
詳解 歴史総合（東京書籍）					
学習目標					
近現代を中心に、史資料を活用し、日本と世界の歴史を相互に関連付け学び、多角的に歴史を考察する。また、課題を追及、解決する活動を通して、現代の問題と歴史との関連を学ぶ。広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	2025/5/30	内容：18世紀の東アジア、イギリスの産業革命、東アジアの国際秩序の変化と日本の開国、アメリカの独立とフランス革命 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。		P34～P58
	第2回	2025/5/30	歴史上の人物について（生い立ち、戦績、エピソードなど）まとめることで、時代の流れや背景を理解し、歴史的思考力を養う。		教科書全ページ
	第3回	2025/5/30	内容：明治維新と東アジアの国際関係、日清、日露戦争、第一次世界大戦 幕末から第一次世界大戦の動乱の中で、日本の国際社会での動向を学ぶことで、現代の政治・経済・文化の基盤を把握する。		P60～107
	第4回	2025/8/22	沖縄戦と戦後沖縄の歴史学習により、現代の安全保障や平和構築について考える。また、現代の沖縄が抱える問題を学ぶことで、社会的課題を解決する能力を育む。		資料1、2、3
	第5回	2025/8/22	内容：ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界恐慌 国際協調路線から戦争へと向かう歴史を学ぶことで、国際関係や平和を維持するための外交の重要性を考察する。		P108～127
	第6回	2025/8/22	内容：日中戦争と深刻化する世界の危機、第二次世界大戦、アジア太平洋戦争と日本の敗戦 戦争の悲惨な実態を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。		P130～141
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第1章 2節 結びつく世界と日本の開国 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。			別途コース別時間割による
	第2回	第2章 3節 経済危機と第二次世界大戦 国際協調路線から戦争へと向かう歴史を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	CUPS	公民	倫理	2
教科書					
倫理（東京書籍）					
学習目標					
人間としての在り方生き方についての見方・考え方を学び、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動するまでの多角的な視野の構築を目指す。また、人間尊重の精神とグローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	2025/5/30	内容：ギリシャ思想・自然哲学者、ソクラテス、プラトン 古代ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。		P26～P36
	第2回	2025/5/30	トロッコ問題のジレンマについて、功利主義や義務論的な視点を学び、自ら主体的に考え行動する資質を養う。		資料
	第3回	2025/5/30	内容：ギリシャ思想・アリストテレス、経験論と合理論・ベーコン、デカルト アリストテレスの倫理学から、人間にとっての幸福とは何かを考える。 幸福、真理、存在などに着目して、近代哲学者ベーコン、デカルトの思想から多面的・多角的に考察する。		P37～P39 P91～P93
	第4回	2025/8/22	現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。		資料
	第5回	2025/8/22	内容：ドイツ観念論：カント、ヘーゲル カントの説いた道徳法則、理性の命令、自律などの概念について理解し、人間としてのあり方生き方について思索を深める。また、ヘーゲルの弁証法や歴史観について理解させ、世界のあり方について考える。		P106～P106
	第6回	2025/8/22	内容：実存主義：キルケゴール、ニーチェ、ハイデッガー、ヤスパーズ、サルトル 人間理性への信頼を基盤に形成された近代社会を批判する実存主義者の思想を学び、主体的な生き方について学びを深める。		P116～P124
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第2章 2節 ギリシャの思想 ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。			別途コース別時間割による
	第2回	第3章 3節 人格の尊厳と人倫の思想 カント、ヘーゲルの思想を学ぶことで、人間や世界のあり方について考察する。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（9月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	FSG	公民	倫理	2
教科書					
倫理（東京書籍）					
学習目標					
人間としての在り方生き方についての見方・考え方を学び、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動するまでの多角的な視野の構築を目指す。また、人間尊重の精神とグローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	2025/5/30	内容：ギリシャ思想・自然哲学者、ソクラテス、プラトン 古代ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。		P26～P36
	第2回	2025/5/30	トロッコ問題のジレンマについて、功利主義や義務論的な視点を学び、自ら主体的に考え行動する資質を養う。		資料
	第3回	2025/5/30	内容：ギリシャ思想・アリストテレス、経験論と合理論・ベーコン、デカルト アリストテレスの倫理学から、人間にとっての幸福とは何かを考える。 幸福、真理、存在などに着目して、近代哲学者ベーコン、デカルトの思想から多面的・多角的に考察する。		P37～P39 P91～P93
	第4回	2025/8/22	現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。		資料
	第5回	2025/8/22	内容：ドイツ観念論：カント、ヘーゲル カントの説いた道徳法則、理性の命令、自律などの概念について理解し、人間としてのあり方生き方について思索を深める。また、ヘーゲルの弁証法や歴史観について理解させ、世界のあり方について考える。		P106～P106
	第6回	2025/8/22	内容：実存主義：キルケゴール、ニーチェ、ハイデッガー、ヤスパーズ、サルトル 人間理性への信頼を基盤に形成された近代社会を批判する実存主義者の思想を学び、主体的な生き方について学びを深める。		P116～P124
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第2章 2節 ギリシャの思想 ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。			別途コース別時間割による
	第2回	第3章 3節 人格の尊厳と人倫の思想 カント、ヘーゲルの思想を学ぶことで、人間や世界のあり方について考察する。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	CUP・FSG	数学	数学Ⅰ	2
教科書				メディア利用	
新数学Ⅰ（東京書籍）				なし	
学習目標					
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数と式、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	7月29日	第1章 文字と式 第1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式 3 多項式の計算 (1)	—	—
	第2回	7月29日	4 多項式の計算 (2) 5 乗法公式 6 因数分解 (1) 7 因数分解 (2) 8 展開、因数分解のくふうと利用	—	—
	第3回	7月29日	第2節 実数 1 平方根 2 根号を含む式の計算 3 数の分類 4 分数と小数	—	—
	第4回	7月29日	第3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 3 不等式の性質 4 不等式の解 5 不等式の解き方	—	—
	第5回	7月29日	6 2次方程式とその解き方 7 2次方程式の解の公式	—	—
	第6回	7月29日	添削課題第1回～第5回範囲に関する【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】に関する問題 ※紙で提出させる課題	—	—
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	添削課題第1回～第3回の内容について以下の観点で学習する。 ・乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。 ・分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。 ・ x^2 の係数が1以外の多項式を因数分解することができる。 ・式の一部を1つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって多項式を展開、因数分解することができる。 ・根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。			別途コース別 時間割による
	第2回	添削課題第4回～第6回の内容について以下の観点で学習する。 ・不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。 ・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。また、1次不等式を利用して、文章題を解くことができる。 ・2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解、解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。			別途コース別 時間割による
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
FSG WPS 期末試験（8月 9月） （試験範囲、時間割は2週間 前に発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について ＜知識技能＞試験、添削課題 ＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞添削課題 で評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画														
学年	学期	コース	教科				科目				単位数			
1	前期	CUPS・FSG	保健体育				体育				2			
教科書														
現代高等保健体育（大修館書店）														
学習目標														
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。														
(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。														
(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。														
(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。														
添削課題	回数	学習のねらい、内容など										備考 教科書ページ等		
	第1回	内容：スポーツの始まりと変遷、文化としてのスポーツ 提出期限：5月23日（金）										p.136～143		
	第2回	内容：オリンピックとパラリンピックの意義、スポーツの高潔さとドーピング 提出期限：6月28日（金）										p.144～147 p.150～153		
面接指導日	クラス	11組	12組	13組										
	第1回	別途コース別 時間割による		1体育の心得 2単位について（シラバス） 3体育時の服装について 4体育授業についてのルール										
		別途コース別 時間割による		1運動の意義 2列の増減 3挨拶の仕方										
	第2回	別途コース別 時間割による		体づくり運動（1大縄跳び 2棒送り 3開志体操）										
		別途コース別 時間割による		体づくり運動（1大縄跳び 2開志体操）										
	第3回	別途コース別 時間割による		体づくり運動テスト（開志体操の試技）										
		別途コース別 時間割による		体づくり運動テスト（開志体操の試技、チーム対抗の運動）										
	第4回	別途コース別 時間割による		球技（ネット型）										
		別途コース別 時間割による		球技（ネット型）										
	第5回	別途コース別 時間割による		球技（ネット型）										
別途コース別 時間割による		球技（ネット型）												
第6回	別途コース別 時間割による		球技（ネット型）											
	別途コース別 時間割による		球技（ネット型）											
単位認定試験		評価方法												
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。												

令和7年度 通信教育実施計画															
学年	学期	コース	教科				科目				単位数				
2	前期	CUPS・FSG	保健体育				体育				2				
教科書															
現代高等保健体育（大修館書店）															
学習目標															
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。															
(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。															
(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。															
(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。															
添削課題	回数	学習のねらい、内容など										備考 教科書ページ等			
	第1回	内容：スポーツにおける技能と体力、効果的な動きのメカニズム 提出期限：5月23日（金）										p.158～159 p.168～171			
	第2回	内容：体力トレーニング、運動やスポーツでの安全確保 提出期限：6月28日（金）										p.172～180			
面接指導日	クラス	11組	12組	13組											
	第1回	別添コース別 時間割による			1体育の心得 2単位について（シラバス） 3体育時の服装について 4体育授業についてのルール										
	第2回	別添コース別 時間割による			1運動の意義 2列の増減 3挨拶の仕方										
	第3回	別添コース別 時間割による			体づくり運動（1大縄跳び 2棒送り 3開志体操）										
	第4回	別添コース別 時間割による			体づくり運動（1大縄跳び 2開志体操）										
	第5回	別添コース別 時間割による			体づくり運動テスト（開志体操の試技）										
	第6回	別添コース別 時間割による			体づくり運動テスト（開志体操の試技、チーム対抗の運動）										
	第7回	別添コース別 時間割による			球技（ネット型）										
	第8回	別添コース別 時間割による			球技（ネット型）										
	第9回	別添コース別 時間割による			球技（ネット型）										
第10回	別添コース別 時間割による			球技（ゴール型）											
単位認定試験		評価方法													
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。													

令和7年度 通信教育実施計画															
学年	学期	コース	教科				科目				単位数				
3	前期	CUPS・FSG	保健体育				体育				2				
教科書															
現代高等保健体育（大修館書店）															
学習目標															
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。															
添削課題	回数	学習のねらい、内容など										備考 教科書ページ等			
	第1回	内容：生涯スポーツ、豊かなスポーツライフについて 提出期限：5月23日（金）										P.182～199			
面接指導日	クラス	11組	12組	13組											
	第1回	別途コース別時間割による													
		1体育の心得 2単位について（シラバス） 3体育時の服装について 4体育授業についてのルール													
	第2回	別途コース別時間割による													
		1運動の意義 2列の増減 3挨拶の仕方													
	第3回	別途コース別時間割による													
体づくり運動（1大縄跳び 2棒送り 3開志体操）															
第4回	別途コース別時間割による														
	体づくり運動（1大縄跳び 2開志体操）														
第5回	別途コース別時間割による														
	体づくり運動テスト（開志体操の試技）														
単位認定試験		評価方法													
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。													

令和7年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数												
1	前期	通4・2・CUPS・FSG	保健体育	保健	1												
教科書																	
現代高等保健体育（大修館書店）																	
学習目標																	
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。																	
添削課題	回数	学習のねらい、内容など										備考 教科書ページ等					
	第1回	内容：思春期と健康、性意識と性行動の選択 提出期限：8月22日										3単元 性意識と性行動の選択 2、3					
	第2回	内容：妊娠・出産と健康、避妊本と人工妊娠中絶 提出期限：8月22日										3単元 性意識と性行動の選択 4、5					
	第3回	内容：性感染症・エイズとその予防、結婚生活と健康 提出期限：8月22日										1単元 現代社会と健康 17 3単元 性意識と性行動の選択 6					
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	11組	12組	13組					
	第1回	7/3	7/3	7/3	7/3	7/3	7/3	7/3	7/2	別途コース別時間割による							
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について															
単位認定試験				評価方法													
FSG CUPS 期末（8月・9月） 試験範囲：別途定める 時間割：2週間前に発表				試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。													

令和7年度 通信教育実施計画															
学年	学期	コース	教科				科目				単位数				
2	前期	CUPS・FSG	保健体育				保健				2				
教科書															
現代高等保健体育（大修館書店）															
学習目標															
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。															
添削課題	回数	学習のねらい、内容など										備考 教科書ページ等			
	第1回	生活習慣病の予防と回復、がんの原因と予防、がんの治療と回復、食事と健康 提出期限：5月30日										1単元 現代社会と健康 1、4、5、7			
	第2回	喫煙と健康、飲酒と健康、薬物乱用と健康 提出期限：5月30日										1単元 現代社会と健康 9、10、11			
	第3回	精神疾患の特徴、精神疾患の予防、精神疾患からの回復 提出期限：5月30日										1単元 現代社会と健康 12、13、14			
	第4回	現代の感染症、感染症の予防 提出期限：8月22日										1単元 現代社会と健康 15、16			
	第5回	性感染症・エイズとその予防、性意識と性行動の選択、妊娠・出産と健康、避妊と人工妊娠中絶 提出期限：8月22日										1単元 現代社会と健康 17 3単元 生涯を通じる健康 3、4、5			
	第6回	応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当、心肺蘇生法 提出期限：8月22日										2単元 安全な社会生活 4、5、6			
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	11組	12組	13組			
	第1回	4/14	4/16	4/14	4/14	4/16	4/16	4/14	4/14	別途コース別時間割による					
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について													
	第2回	5/25	5/26	5/25	5/25	5/26	5/26	5/25	5/25	別途コース別時間割による					
学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について															
単位認定試験					評価方法										
FSq cups 期末（8月・9月） 試験範囲：別途定める 時間割：2週間前に発表					試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。										

令和7年度 通信教育実施計画													
学年		学期		コース		教科			科目		単位数		
1		前期		CUPS		芸術			美術Ⅰ		1		
教科書													
高校生の美術1													
学習目標													
基礎をはじめ、幅広い創作活動を行うことで、美的体験を重ね、生活や社会などで生かせる知識技能を養う。 具体的には、対象や事象をとらえる視点や造形的な良さを発見し、表現に生かせる力や生涯にわたり美術を愛好する心情、豊かな社会生活を創造する力を育ませたい。													
添削課題		回数	締切日	学習のねらい、内容など								備考 教科書ページ等	
		第1回	4/24 (木)	色彩学 絵を描くための描画材の種類について学習し、それぞれの性質や特徴を理解する。描画材を用いて、色相環を完成させ、色の関係などを学ぶ。								教科書p.152～p.154	
		第2回	5/15 (木)	美の秩序 構成美について学ぶ シンメトリー(対称)、リピティション(繰り返し)、グラデーション(階調)、アクセント(強調)を学ぶ。								教科書p.150,p.151	
		第3回	5/29 (木)	平面構成 第2回で学んだ内容を生かし、構成美を用いた平面構成を完成させる。								教科書p.142,p.150,p.151	
		第4回	6/5 (木)	三原色の学習 色料の三原色について学ぶ。シアン、イエロー、マゼンタの三色を用いて三原色のチャートを完成させる。									
		第5回	6/26 (木)	三原色を用いて着色を行う 第3回で学習したことを踏まえて、色料の三原色のみで絵を描かせる。三原色で自分の作りたい色を的活に作る力を養う。								教科書p.132～p.135 p.6～p.9	
		第6回	7/17 (木)	手のデッサン・人物クロッキー 鉛筆の種類の違いや陰影や質感などの表現方法を学ぶ。また、クロッキー基本である人物をモデルとしたクロッキーを行う。								教科書p.132～p.135	
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組				
	第1回	4月15日(火)											
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。											
	第2回	4月22日(火)											
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。											
	第3回	5月13日(火)											
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。											
	第4回	5月20日(火)											
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。											
	第5回	6月3日(火)											
学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。													
第6回	6月17日(火)												
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。												
第7回	7月1日(火)												
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。												
第8回	7月15日(火)												
	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。												
単位認定試験			評価方法										
無し			平素の学習への取り組み、提出されたレポートの完成度(技術力・理解力・表現力・独創性)などを総合的に評価する。										

令和7年度 通信教育実施計画												
学年		学期		コース		教科			科目		単位数	
1		前期		FSG		芸術			美術Ⅰ		1	
教科書												
高校生の美術1												
学習目標												
基礎をはじめ、幅広い創作活動を行うことで、美的体験を重ね、生活や社会などで生かせる知識技能を養う。 具体的には、対象や事象をとらえる視点や造形的な良さを発見し、表現に生かせる力や生涯にわたり美術を愛好する心情、豊かな社会生活を創造する力を育ませたい。												
添削課題	回数	締切日	学習のねらい、内容など								備考 教科書ページ等	
	第1回	4/24 (木)	三原色の学習 色光と色料の三原色について学ぶ。シアン、イエロー、マゼンタの三色を用いて三原色のチャートを完成させる。								教科書p.153	
	第2回	5/15 (木)	平面構成 色の視覚的印象を学び、それを生かした平面構成を行う。								教科書p.150,p.151	
	第3回	5/29 (木)	勾玉制作 石材を利用して、命の躍動・自然の力などを形にし、オリジナルの勾玉を制作する。								教科書p.56,p.60～p.63	
	第4回	6/5 (木)	手のデッサン 手を様々な角度から観察してデッサンする。								教科書p.132～p.134	
	第5回	6/26 (木)	日本美術 葛飾北斎について学ぶ 葛飾北斎の生涯について学び、その時々の絵について鑑賞し、理解を深める。								教科書p.26～p.35	
	第6回	7/17 (木)	扇絵のデザイン 扇絵の描き方を学び、それに従って制作していく。								教科書p.26～p.35	
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組			
	第1回	4月15日（火）										
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。										
	第2回	4月22日（火）										
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。										
	第3回	5月13日（火）										
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。										
	第4回	5月20日（火）										
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。										
	第5回	6月3日（火）										
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。										
	第6回	6月17日（火）										
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。										
	第7回	7月1日（火）										
		学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。										
	第8回	7月15日（火）										
学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度について面談。												
単位認定試験			評価方法									
無し			平素の学習への取り組み、提出されたレポートの完成度(技術力・理解力・表現力・独創性)などを総合的に評価する。									

令和7年度 通信教育実施計画										
学年	学期	コース	教科				科目		単位数	
3	前期	CUPS	理科				生物基礎		2	
教科書										
数研出版 「新編 生物基礎」 (104 数研 生基/709)										
学習目標										
・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。										
添削課題	回数	ページ	学習のねらい、内容など						備考 教科書ページ等	
	第1回	5/9	多様な生物にも共通性があることを理解し、多様な生物に共通性が見られる理由について理解する。また、生命活動にはエネルギーが必要であることを理解するとともに生命活動にはATPのエネルギーが利用されていることを理解する。						P20～33、 P34～37	
	第2回	5/16	DNAが複製されるしくみおよび、体細胞分裂の過程でDNAが複製され分配されることを理解する。また、DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程を理解する。						P54～61 P62～67	
	第3回	5/30	からだを構成する細胞で遺伝子がどのように発現しているかを理解する。						P68～81	
	第4回	6/27	体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解し、自律神経系と内分泌系がからだの状態を調節するしくみを理解する。また、自律神経系と内分泌系のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。						P86～105 P106～107	
	第5回	7/25	私たちのからだを守る免疫のしくみを理解し、免疫と病気や治療法との関係について理解する。						P108～119	
	第6回	8/22	いろいろな植生とその特徴を理解し、世界各地の多様なバイオームおよび、日本に分布するバイオームについて理解する。また、生態系がどのように構成されているのかを理解するとともに、人間生活が生態系に与える影響と生態系の保全の重要性を理解						P126～145 P146～163	
面接指導日	クラス	11組								
	※									※日程はCUPSの授業スケジュールによる
	第1回		学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について							
	※									※日程はCUPSの授業スケジュールによる
	第2回		添削課題の取り組み（進捗状況の確認）について							
	※									※日程はCUPSの授業スケジュールによる
	第3回		実習① DNA模型の作製							
	※									※日程はCUPSの授業スケジュールによる
	第4回		実験① カタラーゼのはたらき							
	※									※日程はCUPSの授業スケジュールによる
	第5回		実験①の振り返りとまとめ							
	※									※日程はCUPSの授業スケジュールによる
	第6回		実験② DNAの抽出							
	※									※日程はCUPSの授業スケジュールによる
	第7回		実験②の振り返りとまとめ							
	※									※日程はCUPSの授業スケジュールによる
	第8回		期末試験の取り組み方について							
単位認定試験			評価方法							
期末（9月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）			試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価							

令和7年度 通信教育実施計画										
学年	学期	コース	教科				科目		単位数	
3	前期	FSG	理科				生物基礎		2	
教科書										
数研出版 「新編 生物基礎」 (104 数研 生基/709)										
学習目標										
・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに 関する基本的な技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。										
添 削 課 題	回数	ページ	学習のねらい、内容など						備考 教科書ページ等	
	第1回	5/9	多様な生物にも共通性があることを理解し、多様な生物に共通性が見られる理由について理解する。また、生命活動にはエネルギーが必要であることを理解するとともに生命活動にはATPのエネルギーが利用されていることを理解する。						P20～33、 P34～37	
	第2回	5/16	DNAが複製されるしくみおよび、体細胞分裂の過程でDNAが複製され分配されることを理解する。また、DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される過程を理解する。						P54～61 P62～67	
	第3回	5/30	からだを構成する細胞で遺伝子がどのように発現しているかを理解する。						P68～81	
	第4回	6/27	体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解し、自律神経系と内分泌系がからだの状態を調節するしくみを理解する。また、自律神経系と内分泌系のはたらきによって、体内環境が維持されていることを理解する。						P86～105 P106～107	
	第5回	7/25	私たちのからだを守る免疫のしくみを理解し、免疫と病気や治療法との関係について理解する。						P108～119	
	第6回	8/22	いろいろな植生とその特徴を理解し、世界各地の多様なバイオームおよび、日本に分布するバイオームについて理解する。また、生態系がどのように構成されているのかを理解するとともに、人間生活が生態系に与える影響と生態系の保全の重要性を理解						P126～145 P146～163	
面 接 指 導 日	クラス	12組	13組							
	第1回	4/14	4/14							
		学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について								
	第2回	5/26	5/26							
		添削課題の取り組み（進捗状況の確認）について								
	第3回	6/2	6/2							
		実習① DNA模型の作製								
	第4回	6/10	6/10							
		実験① カタラーゼのはたらき								
	第5回	6/12	6/12							
実験①の振り返りとまとめ										
第6回	7/14	7/14								
	実験② DNAの抽出									
第7回	7/16	7/16								
	実験②の振り返りとまとめ									
第8回	8/25	8/25								
	期末試験の取り組み方について									
単位認定試験			評価方法							
期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に 発表）			試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平常の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価							

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	CUPS	外国語	英語コミュニケーションⅠ	2
教科書					
All Aboard!! English Communication Ⅰ（東京書籍）					
学習目標					
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の糸を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等	
	第1回	2025/5/30	be動詞や一般動詞の現在形、過去形、動詞のing形を理解する。Lesson 1、2の新出単語、語句を理解する。	Pre-Lesson 1-2 Lesson 1 Lesson 2	
	第2回	2025/5/30	be動詞や一般動詞、動詞の過去形、「～している（していた）」ことについて〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について整理・理解している。オーストラリアに生息する珍しい野生動物について理解する。	Pre-Lesson 1-2 Lesson 1 Lesson 2	
	第3回	2025/5/30	be動詞や一般動詞、動詞の過去形、〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。	Pre-Lesson 1-2 Lesson 1 Lesson 2	
	第4回	2025/8/22	Lesson 3,6の新出単語、語句を理解する。助動詞＋動詞の原形、動詞の過去分詞を理解する。	Lesson 3 Lesson 6	
	第5回	2025/8/22	本文を読み、被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。助動詞can, will、受け身〈be動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につける。	Lesson 3 Lesson 6	
	第6回	2025/8/22	助動詞＋動詞の原形、受け身〈be動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。	Lesson 3 Lesson 6	
面接指導日	クラス	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	Lesson 1 音読指導			別途コース別時間割による
	第3回	Lesson 2 音読指導			別途コース別時間割による
	第4回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第5回	英作文指導（過去形、進行形）			別途コース別時間割による
	第6回	英作文指導（助動詞、受け身）			別途コース別時間割による
	第7回	Lesson 3 音読指導			別途コース別時間割による
	第8回	Lesson 6 音読指導			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
・期末（9月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識技能＞試験、添削課題、音読など＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組み態度＞学習に取り組み、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	FSG	外国語	英語コミュニケーションⅠ	2
教科書					
All Aboard!! English Communication Ⅰ（東京書籍）					
学習目標					
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の糸を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	2025/5/30	be動詞や一般動詞の現在形、過去形、動詞のing形を理解する。Lesson 1、2 の新出単語、語句を理解する。		Pre-Lesson 1-2 Lesson 1 Lesson 2
	第2回	2025/5/30	be動詞や一般動詞、動詞の過去形、「～している（していた）」ことについて〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について整理・理解している。オーストラリアに生息する珍しい野生動物について理解する。		Pre-Lesson 1-2 Lesson 1 Lesson 2
	第3回	2025/5/30	be動詞や一般動詞、動詞の過去形、〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。		Pre-Lesson 1-2 Lesson 1 Lesson 2
	第4回	2025/8/22	Lesson 3,6の新出単語、語句を理解する。助動詞＋動詞の原形、動詞の過去分詞を理解する。		Lesson 3 Lesson 6
	第5回	2025/8/22	本文を読み、被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。助動詞 can, will、受け身〈be動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につける。		Lesson 3 Lesson 6
	第6回	2025/8/22	助動詞＋動詞の原形、受け身〈be動詞＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。		Lesson 3 Lesson 6
面接指導日	クラス	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	Lesson 1 音読指導			別途コース別時間割による
	第3回	Lesson 2 音読指導			別途コース別時間割による
	第4回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第5回	英作文指導（過去形、進行形）			別途コース別時間割による
	第6回	英作文指導（助動詞、受け身）			別途コース別時間割による
	第7回	Lesson 3 音読指導			別途コース別時間割による
第8回	Lesson 6 音読指導			別途コース別時間割による	
単位認定試験		評価方法			
・ 期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、音読、添削課題、他提出物や平常の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識技能＞試験、添削課題、音読など＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	CUPS	外国語	英語コミュニケーションⅡ	2
教科書					
All Aboard!! English Communication Ⅱ (東京書籍)					
学習目標					
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等	
	第1回	2025/5/30	Lesson 1、6 の新出単語、語句を理解している。関係代名詞whatを用いた文の形・意味、to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。	Lesson 1 Lesson 5	
	第2回	2025/5/30	関係代名詞what、to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。また、歌舞伎と隈取について学んだり、日本の伝統文化について調べた事例を整理・理解する。イタリアのプラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について理解する。	Lesson 1 Lesson 5	
	第3回	2025/5/30	関係代名詞what、to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。Communication 1の単語を理解する。	Lesson 1 Lesson 5	
	第4回	2025/8/22	Lesson 2、Lesson 7の新出単語、語句を理解する。比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解する。関係副詞where、whenを用いた文の形・意味を理解する。	Lesson 2 Lesson 7	
	第5回	2025/8/22	曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対談を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて理解する。世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について理解する。比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解する。関係副詞where、whenを用いた文の形・意味を理解する。	Lesson 2 Lesson 7	
	第6回	2025/8/22	比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解し、指示された英文を作成する。Communication 2の表現を理解する。	Lesson 2 Lesson 7	
面接指導日	クラス	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	Lesson 1 音読指導			別途コース別時間割による
	第3回	Lesson 5 音読指導			別途コース別時間割による
	第4回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第5回	英作文指導（to不定詞、関係代名詞what）			別途コース別時間割による
	第6回	英作文指導（比較表現 more, the most、関係副詞 when, where）			別途コース別時間割による
	第7回	Lesson 2 音読指導			別途コース別時間割による
	第8回	Lesson 7 音読指導			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（9月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、音読、添削課題、他提出物や平常の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識技能＞試験、添削課題、音読など＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組み態度＞学習に取り組み、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	FSG	外国語	英語コミュニケーションⅡ	2
教科書					
All Aboard!! English Communication Ⅱ（東京書籍）					
学習目標					
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等	
	第1回	2025/5/30	Lesson 1、6 の新出単語、語句を理解している。関係代名詞whatを用いた文の形・意味、to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。	Lesson 1 Lesson 5	
	第2回	2025/5/30	関係代名詞what、to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。また、歌舞伎と隈取について学んだり、日本の伝統文化について調べた事柄を整理・理解する。イタリアのブラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について理解する。	Lesson 1 Lesson 5	
	第3回	2025/5/30	関係代名詞what、to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。Communication 1の単語を理解する。	Lesson 1 Lesson 5	
	第4回	2025/8/22	Lesson 2、Lesson 7の新出単語、語句を理解する。比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解する。関係副詞where、whenを用いた文の形・意味を理解する。	Lesson 2 Lesson 7	
	第5回	2025/8/22	曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて理解する。世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について理解する。比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解する。関係副詞where、whenを用いた文の形・意味を理解する。	Lesson 2 Lesson 7	
	第6回	2025/8/22	比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解し、指示された英文を作成する。Communication 2の表現を理解する。	Lesson 2 Lesson 7	
面接指導日	クラス	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	Lesson 1 音読指導			別途コース別時間割による
	第3回	Lesson 5 音読指導			別途コース別時間割による
	第4回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第5回	英作文指導（to不定詞、関係代名詞what）			別途コース別時間割による
	第6回	英作文指導（比較表現 more, the most、関係副詞 when, where）			別途コース別時間割による
	第7回	Lesson 2 音読指導			別途コース別時間割による
	第8回	Lesson 7 音読指導			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
・期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識技能>試験、添削課題、音読など<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	CUPS	外国語	論理表現	2
教科書					
NEW FAVORITE English Logic and Expression I (東京書籍)					
学習目標					
多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等	
	第1回	2025/5/30	褒める・勤める・断るとき、提案する・依頼する・道順を説明するとき、体調を伝える・体調を尋ねる・指示・アドバイスをするときの表現の形や単語を身に付ける。	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 4	
	第2回	2025/5/30	褒める・勤める・断るとき、提案する・依頼する・道順を説明するとき、体調を伝える・体調を尋ねる・指示・アドバイスをするときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につける。	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 4	
	第3回	2025/5/30	褒める・勤める・断るとき、提案する・依頼する・道順を説明するとき、体調を伝える・体調を尋ねる・指示・アドバイスをするときのモデルダイアログを身に付ける。	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 4	
	第4回	2025/8/22	描写する、相づちを打つとき、誘う、誘いを受ける、誘いを断るとき、謝る、許す、励ますときの表現の形や単語を身に付ける。	Lesson 5 Lesson 7 Lesson 10	
	第5回	2025/8/22	描写する、相づちを打つとき、誘う、誘いを受ける、誘いを断るとき、謝る、許す、励ますときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につける。	Lesson 5 Lesson 7 Lesson 10	
	第6回	2025/8/22	描写する、相づちを打つとき、誘う、誘いを受ける、誘いを断るとき、謝る、許す、励ますときのモデルダイアログを身に付ける。	Lesson 5 Lesson 7 Lesson 10	
面接指導日	クラス	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	Lesson 1 音読指導			別途コース別時間割による
	第3回	Lesson 2 音読指導			別途コース別時間割による
	第4回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第5回	Lesson 3 音読指導			別途コース別時間割による
	第6回	Lesson 5 音読指導			別途コース別時間割による
	第7回	Lesson 7 音読指導			別途コース別時間割による
	第8回	英作文指導（まとめ）			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（9月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識技能>試験、添削課題、音読など<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	FSG	外国語	論理表現	2
教科書					
NEW FAVORITE English Logic and Expression I（東京書籍）					
学習目標					
多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等	
	第1回	2025/5/30	褒める・勧める・断るとき、提案する・依頼する・道順を説明するとき、体調を伝える・体調を尋ねる・指示・アドバイスをするときの表現の形や単語を身に付ける。	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 4	
	第2回	2025/5/30	褒める・勧める・断るとき、提案する・依頼する・道順を説明するとき、体調を伝える・体調を尋ねる・指示・アドバイスをするときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につける。	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 4	
	第3回	2025/5/30	褒める・勧める・断るとき、提案する・依頼する・道順を説明するとき、体調を伝える・体調を尋ねる・指示・アドバイスをするときのモデルダイアログを身に付ける。	Lesson 1 Lesson 2 Lesson 4	
	第4回	2025/8/22	描写する、相づちを打つとき、誘う、誘いを受ける、誘いを断るとき、謝る、許す、励ますときの表現の形や単語を身に付ける。	Lesson 5 Lesson 7 Lesson 10	
	第5回	2025/8/22	描写する、相づちを打つとき、誘う、誘いを受ける、誘いを断るとき、謝る、許す、励ますときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につける。	Lesson 5 Lesson 7 Lesson 10	
	第6回	2025/8/22	描写する、相づちを打つとき、誘う、誘いを受ける、誘いを断るとき、謝る、許す、励ますときのモデルダイアログを身に付ける。	Lesson 5 Lesson 7 Lesson 10	
面接指導日	クラス	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	Lesson 1 音読指導			別途コース別時間割による
	第3回	Lesson 2 音読指導			別途コース別時間割による
	第4回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第5回	Lesson 3 音読指導			別途コース別時間割による
	第6回	Lesson 5 音読指導			別途コース別時間割による
	第7回	Lesson 7 音読指導			別途コース別時間割による
	第8回	英作文指導（まとめ）			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
・ 期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、音読、添削課題、他提出物や平常の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識技能＞試験、添削課題、音読など＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	CUPS	家庭	家庭総合	2
教科書					
高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる（第一学習社）					
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（1）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（3）様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	6月6日	1章：これからの生き方と家族（家族・家庭） 2章：次世代を育む（保育） 【知識・技能】		教科書p.5～p.26 教科書p.28～54
	第2回	6月6日	3章：充実した生涯へ（高齢者） 4章：ともに生きる（福祉・共生） 【知識・技能】		教科書p.55～p.70 教科書p.71～p.81
	第3回	8月29日	1章～4章の内容（家族・家庭・保育・高齢者・共生）についての知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】		教科書p.5～p.26 教科書p.28～54 教科書p.55～p.70 教科書p.71～p.81
	第4回	8月29日	4章の内容（共生）についての生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動を計画する 【主体的】		教科書p.71～p.81
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	家庭総合について、科目の概要、添削課題や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割による
	第2回	第3章 子どもと共に育つ 妊婦体験を通して、妊婦出産や母体の変化・周囲の理解について学習する			別途コース別時間割による
	第3回	第3章 子どもと共に育つ 赤ちゃんのお世話実習を通して子どもについて学習する			別途コース別時間割による
	第4回	期末試験に向けて、要点や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（9月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	FSG	家庭	家庭総合	2
教科書					
高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる（第一学習社）					
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（1）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（3）様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等	
	第1回	6月6日	1章：これからの生き方と家族（家族・家庭） 2章：次世代を育む（保育） 【知識・技能】	教科書p.5～p.26 教科書p.28～54	
	第2回	6月6日	3章：充実した生涯へ（高齢者） 4章：ともに生きる（福祉・共生） 【知識・技能】	教科書p.55～p.70 教科書p.71～p.81	
	第3回	8月29日	1章～4章の内容（家族・家庭・保育・高齢者・共生）についての知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】	教科書p.5～p.26 教科書p.28～54 教科書p.55～p.70 教科書p.71～p.81	
	第4回	8月29日	4章の内容（共生）についての生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動を計画する 【主体的】	教科書p.71～p.81	
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	家庭総合について、科目の概要、添削課題や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割による
	第2回	第3章 子どもと共に育つ 妊婦体験を通して、妊婦出産や母体の変化・周囲の理解について学習する			別途コース別時間割による
	第3回	第3章 子どもと共に育つ 赤ちゃんのお世話実習を通して子どもについて学習する			別途コース別時間割による
	第4回	期末試験に向けて、要点や学習の進め方について説明する。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			